

2 OJT 実践

OJT キーワード

グループ研修で OJT

- グループ編成
 - ・ 学年を問わず 4 グループを編成し、グループチーフ（中堅教員）を中心に研修を進める。
 - ・ 各グループの編成については、若手教員・中堅教員・ベテラン教員が所属するようにする。
 - ・ 各グループのアドバイザー（ベテラン教員）は、研修内容や指導の在り方に適時指導助言する。
- 日時及びテーマ
 - ・ 今年度は、生徒指導・学級経営等の実践力を高めることを目指し、日常の生活場面を意識しながら以下のテーマを設定した。

	日 時	テーマ
第 1 回	5 月 2 3 日（金）	学級開き，学級づくりはどのように行ったか （学級の組織作りや給食・清掃指導など学級経営について）
第 2 回	6 月 2 3 日（月）	学級懇談・家庭訪問～私のすすめ方～ （保護者との心の通う 1 年にするために）
第 3 回	9 月 8 日（月）	部活動指導の在り方
第 4 回	1 1 月 4 日（火）	不登校生徒・支援が必要な生徒への関わり方
第 5 回	3 月 1 0 日（火）	今年度の教育実践を振り返って
第 6 回	月 日（ ）	自由テーマ（話題にしてほしい事）

- ・ 昨年度のグループ研修のテーマ
「学級の席替えをどのように行うか」「道徳授業のすすめ方」
「合唱コンクールに向けての指導のポイント」「通信票の所見の書き方」等
- ・ 各自，事前に提示されたテーマに沿ったレポートを A4 版 1 枚程度にまとめて参加する。
- その他
 - ・ グループ研修は，約 30 分間（16:15～16:45 など）
 - ・ グループ研修は部活動中止期間に実施。ただし，部活動と並行して実施する場合は，生徒に教員が付けない間の練習方法を具体的に指示する。

※次ページに資料「第 1 回グループ研修」実施要項掲載

平成26年度 第1回グループ研修

テーマ：学級開き，学級づくりはどのように行ったか
(学級の組織作りや給食・清掃指導など学級経営について)

1. 目的

教職員一人一人が培ってきたノウハウを交換することとおし，教職員一人一人の意識や力量の向上を図る。

2. 目標

各学級やこれまでの経験の中で，学級開きをどのように進めたか情報交換することにより，学級経営における学級開きの目的や方法，課題等を確認し，学級経営に生かす。

3. 日時 5月23日(金) 16:15～16:45 30'

4. 内容・進め方

(1) メンバーからテーマに関して発表

- ①学級開きをどのように行ったか
- ②学級の組織作りをどのように行ったのか
- ③給食・清掃指導について

*事前に発表内容についてA4・1枚にまとめ，当日は班の人数を分印刷して準備しておいてください。

*研究部への提出もお願いします。保存先は下記のところに。

職員共有-02 研究部-現職教育-グループ研修レポート-第1回

お忙しい中ですが，何とぞよろしくお願いいたします。

(2) 協議

(3) アドバイザーからの助言・指導

(4) 輪番で記録をお願いいたします。様式は後日。記録後はシバタに提出願います。

なお，記録者は①のTからスタートします。

	チーフ	アドバイザー	メンバー				
1班	<input type="text"/>	<input type="text"/>	① <input type="text"/>	② <input type="text"/>	③ <input type="text"/>	④ <input type="text"/>	
2班	<input type="text"/>	<input type="text"/>	① <input type="text"/>	② <input type="text"/>	③ <input type="text"/>	④ <input type="text"/>	
3班	<input type="text"/>	<input type="text"/>	① <input type="text"/>	② <input type="text"/>	③ <input type="text"/>	④ <input type="text"/>	⑤ <input type="text"/>
4班	<input type="text"/>	<input type="text"/>	① <input type="text"/>	② <input type="text"/>	③ <input type="text"/>	④ <input type="text"/>	⑤ <input type="text"/>

5. まとめ

校内研修の振り返りについて，机上にご用意しますので，記入・提出についてご協力をお願いします(締切・5月26日(月))。